

平成25年度第1回大阪府立体育会館等 指定管理者評価委員会会議概要

- 〇 日 時：平成25年10月11日（金） 15：00～17：00
- 〇 場 所：大阪府立臨海スポーツセンター（小会議室）
- 〇 出席状況：出席委員 4名 欠席委員 1名
（事務局）教育委員会 保健体育課 首席指導主事 1名、総括主査2名、副主査1名、
主事 1名
- 〇 傍聴者：0名

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 委員の紹介
- 4 議 事（委員長：□、委員：▲、事務局：△）

（1）委員会の開催

□：大阪府立体育会館等指定管理者評価委員会規則第5条第2項に基づき、過半数以上の委員の出席により委員会の成立とする。

（2）報告事項

①各施設平成24年度決算状況を説明

②平成24年度モニタリング評価実施による改善のための対応方針等の進捗状況を説明

<質疑応答>

▲：体育会館の人件費が減少しているのはなぜか。

△：平成23年度の決算状況には、本社勤務者の人件費が含まれていたが、平成24年度からの決算には計上しないようになったため。人員配置が変動したわけではない。

▲：体育会館の自主事業（教室）で利用率が低いものについて、今後どのように対応するのか。HPの掲載方法については。

△：近隣に同種の教室があることから、使用料金の適正化を検討するとともに、チラシのみでなく、ポスターサイズが印刷できる輪転機を指定管理者において施設に設置し、周知ポスターを作成し駅構内等に掲示するなどPRを行っていく予定。

HPについては、利用者が自主事業（教室）を検索しやすいように改善を検討していく。

▲：体育会館のネーミングライツ収入は、収支に計上されているか。

△：ネーミングライツの収入は、大阪府の歳入になることから、指定管理者の決算には計上されていない。

▲：臨海SCの宣伝費及び賃借料の経費支出が前年度に比べ減っている理由は。

△：宣伝費については、当初考えていたダイレクトメール・駅の構内への掲示を取止めたため。賃借料は自主事業の一部廃止等により減。

▲：漕艇Cの委託料は何に支出されているのか。その他収入とはどのようなものか。

△：指定管理者が契約した清掃委託等の外注費用となる。その他収入は公衆電話代。

▲：漕艇Cは人件費の支出が約5,700千円、自己資金で約6,300千円の支出となっている。指定管理者にとって何かメリットがあるのか。

△：公益財団法人であり、利益追求の経営ではない。公募時より自己資金を投入する収支

提案を行っており、広くマリンスポーツの振興を図るため。

(3) 議 題

①平成25年度における利用者からの意見（アンケート実施）について説明

△：・アンケート内容は昨年度と同様。

- ・アンケート用紙の配布は、保健体育課HPでの掲載、各施設での掲示、施設（指定管理者）のHPからダウンロードするようにする。
- ・提出方法は、指定管理者が集約をせず直接、大阪府が回収し取りまとめる。
- ・実施期間は、11月1日から11月30日とし、取りまとめたのち第2回目の評価委員会で報告する予定。

<質疑応答>

▲：前回のアンケート回答数はどうか。

△：前回は、漕艇C、門真SCは回答があったが、体育会館と臨海SCはなし。

施設のHPを見られる方が多いことから施設HPからダウンロードできるように今年度から改めた。

②平成25年度における大阪府立体育会館等指定管理者の評価方法について説明

- △：・定量的な評価、指標を評価表に基準の箇所に記載し、評価表を作成するよう変更したことから、本委員会で評価方法を審議いただく。
- ・評価項目は昨年度と同様の項目としている。

▲：特に意見なし

③今後のスケジュール

- △：・10月に指定管理者による自己評価。11月に指定管理者へのヒアリング実施。
- ・12月に第2回評価委員会の開催。2月に対応方針策定。
 - ・3月に対応方針及び評価結果を公表。指定管理者が事業計画策定。

<質疑応答>

質疑なし。

□：平成25年度利用者アンケートの実施、大阪府立体育会館等指定管理者の評価方法及び今後のスケジュールについて了承とする。

5 閉会

事務局が閉会宣言を行う。